

杉原悠人 『a friend of a friend』

2011年11月12日（土） - 12月17日（土）

オープニングレセプション：11月12日（土）18 - 21時

※会期中は、月曜日17-23時および金・土曜日13-19時のオープンとなります。
※初日の11月12日は、レセプション前も通常通り13時からオープンいたします。

paper necklace
2011, デジタルCプリント, 10×14.8cm
(ネックレスの画像を印刷し、着用・撮影したもの)



I draw, but my drawing fades (Kiss in Blue Heaven)
2011, ヴィデオ・インスタレーション/DVD, 6分44秒。
出演: Megumi Kasai
「好きな歌の歌詞を書きながら、鼻歌でそれを歌う。身体の中で自分がコントロールするはずの二つの要素は、抑制されながら関係をもつ。歌声は歌詞を書く手に、歌詞を書く手は歌声に。不完全な形で物質化した音とドローイングは自分の体を通じた痕である。」

深秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
waitingroomでは、11月12日（土）から12月17日（土）まで、杉原悠人個展『a friend of a friend』を開催いたします。

杉原は1985年愛知県生まれ、2007年3月名古屋造形芸術大学デザイン学科視覚伝達デザインコースを卒業後、名古屋を中心に数々の個展、グループ展に参加する等、精力的に活動を続けてきました。杉原にとって本展が東京での初個展となります。

杉原は、ドローイング、写真、映像、インスタレーションなど多様なメディアを用い、現代の日常生活に偏在する無意識下の様々な関係性（従属関係、支配関係など）を、私小説的な視点から軽やかに組み直し、見る側に再考を促す作品を制作しています。

本展に向けての杉原によるステートメント；

人は現代を考えると、たくさんの人、文化、社会の構成要素を調べます。同様に、僕は「あなた」を知りたいとき、「あなた」に関する手がかりを集めます。その手がかりは、「あなた」と「僕」を跨ぐ文脈において、相互の繋がり、支配関係を持ち、「あなた」に近づく＝理解するためのコードとして用意されます。

僕の制作は、その手がかりから最終的な理解へ到達する為の最も「単純な状態」を、自在にコラージュできるものとして捉え、再構築・可視化していく作業です。

「単純な状態」とは、ゆるやかに繋がったいくつかの手がかりが、いつ、どのように、なにと比較され、関連付けられるかを拒否していないことです。

そうした状態を表現するために今回、「友達の友達 (a friend of a friend)」という言葉を選びました。展示自体をコラージュとして構成することで、作品に近づくことや、その場に居合わせるだけの状況を含めて、自分の意識が届くのではないかと考えています。友達の友達は、何かのきっかけで家族になるかもしれませんし、一生会うことがないままかもしれません。でもそれはみんなが何となくわかっていることです。（杉原悠人）

今回は、東京では未発表の過去の映像作品を交えながら、新作のドローイング、写真、立体作品を中心に展示を構成していきます。

杉原の作品のひとつひとつは、愛知で過ごす彼の日常に溶け込んだ一見至極パーソナルで自己言及的なものに見えます。彼自身の飄々とした振る舞いや、本気なのか冗談なのか曖昧な作品の印象と相まって、強い主張は感じられないかもしれません。しかし、杉原の作品には、私たちが普段何気なく見過ごしている光景や感覚を、見る側をも巻き込みながら再考する状況を作り出す、穏やかだけれどもラディカルな問いかけがあるのではないのでしょうか。

この機会に是非、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

waitingroom (芦川朋子/山内 真)



chain for collage
2011, 紙に色鉛筆, サイズ可変

杉原悠人 『a friend of a friend』

作家略歴

1985年愛知県生まれ。
2007年3月名古屋造形芸術大学デザイン学科 視覚伝達デザインコース卒業
愛知県在住

主な個展

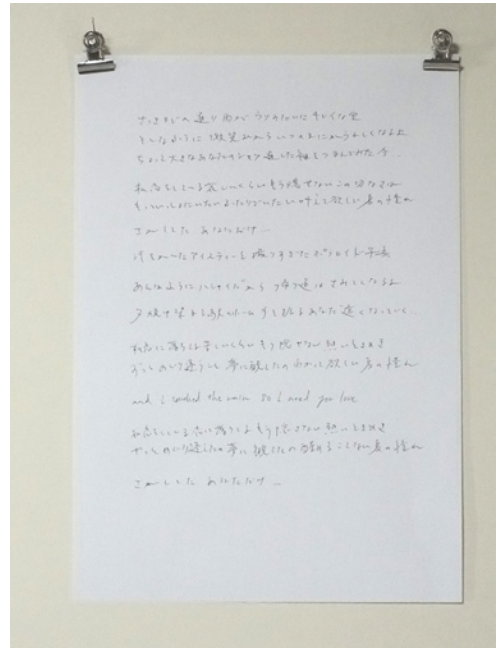
- 2011 『a friend of a friend』 (waitingroom、東京)
『LOVE VENUS』 (Gallery Introart、愛知)
『Sheep May Safely Graze 羊は安らかに草を食み』 (リズムワープ、愛知)
- 2010 『森へ捨てるビスケット』 (Gallery Introart、愛知)
『She Came in Through the Bathroom Window』 (music salon HALO、愛知)
『世界は何も変わらなかった』 (Gallery Introart Tottori、鳥取)

主なグループ展

- 2011 『ULTRA004 (waitingroom 芦川朋子ウォール)』 (スパイラル、東京)
- 2010 『名古屋港アートフェスティバル』 (名古屋港ポートビル、愛知)
『ART&PHOTO BOOK EXHIBITION』 (新宿眼科画廊、東京)



ムラサキシキブの花壇に埋まる
2010, DVD, 3分2秒
「ムラサキシキブの花壇がある。その場所ではかつて僕が死んだ虫や小さな生き物たちを埋めていた場所であった。」



love song drawing
2011, 紙に鉛筆, 29.7×21cm

※本展に関するお問い合わせは、下記連絡先までお願いいたします。

waitingroom (代表：芦川朋子、山内 真)

住所：東京都渋谷区恵比寿西2-8-11 渋谷百貨ビル 4B

営業時間：月 (17-23時)、金土 (13-19時)

Tel&Fax：03-3476-1010 Eメール：info@waitingroom.jp